

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		【経営理念・経営目標】 弊社の理念および目標は、災害などの事故に耐えるために①事前の対策②適正な保険提案③事故の際の解決を軸に作成されている。社内外向けに経営理念を明文化し、毎週の朝礼・全体会議・評価面談・役員および管理職による従業員との個人面談にて理解と実行を図るとともに、提携先等ビジネスパートナーも共有を相互に図っている。また、お客様にも日々の言動を通じて認知してもらっている。								8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		【コンプライアンス委員会における実施】 ①毎月のオンライン講習②内部牽制③自己点検④お客様の声(苦情)収集と改善を定期的に実施し法令順守の重要性を周知させている。また、改善した仕組みもしっかりと履行されているかを確認している。																16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		【役員・コンプライアンス委員会における実施】 保険業法300条を中心に金融各法・消費者保護法等の理解の周知を図っている。また、個人面談を通して抱えている問題がないかを確認するとともに①情報提供②正しい引き受け③顧客本位の対応ができるように日々研鑽し、改善を続けている。										10						16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		【仕組み改善会議にて実施】 経営理念・経営目標を達成するため、役割を分業・代替機能を持たせるために部門化していて、仕組み改善会議にて日々改善を試みている。																16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		募集文書や講習資料などは著作権侵害をしないように保険会社の検査(募集文書登録など)を受けている。								8.2 8.3	9							16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		【コンプライアンス委員会にて実施】 ①携帯・タブレットでの個人情報匿名化の確認とバックアップを実施している。 ②携帯・タブレット・PCのパスワード管理およびログ管理をしている。 ③タブレット・PCでは顧客情報に関するものはセキュリティーを通してからしか閲覧出来ず、タブレット・PC自体には情報を保存しないようにし定期的に確認している。 ④個人LINEを禁止しLINEワークスを使用している。 ⑤漏洩時の報告体制も明確化し周知させている。 ⑥漏洩事例などの勉強会を定期的に実施している。 ⑦持ち出しPCは録画機能を設定しており、定期的に確認している。																16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		【契約者・共同募集先・株主・保険会社等】 事業活動を通じて適切な情報提供に努め、適正な募集活動を実施している。また、保険会社などとも連携し、個人の契約者だけではなく法人契約者からもお客様の声を収集し分析・改善をすることで日々改善している。															16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		保険会社とも連携し、環境に配慮する取組であるペーパーレス化を継続して実施し、紙(個人情報含む)の廃棄は溶解・再利用を依頼している。 【ハラスメント等】保険会社や社会保険労務士などと協力し、人権啓発研修・ハラスメント講習で、理解と侵害防止の取組を継続して実施している。また事業パートナーとの間でハラスメントが生じないように双方向の連絡を取っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		BCP(感染症・サイバー攻撃対策も含む)は策定している。 ①年1回のBCP訓練・安否確認訓練を行っている。 ②サイバー攻撃訓練としては不定期に標的型攻撃メール訓練も実施している。さらに、社外使用でも対応できるセキュリティーのバージョンアップも行っている。 ③複数場所・複数方法でデータのバックアップを行っている。									9		11		13.1			16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		評価制度は継続しており、本年4月からは5年後に40代以下が主力になる組織に変革すべく計画を開始している。また、同時に事業継承のための資金計画も見直しており実施している。								8	9								17		
11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内では差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・女性活躍基準適合一般事業主認定では認定段階2を取得している。 ・健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)が認定されている。 ・評価制度により働き甲斐のある会社になるように改善を行っている。 ・人権啓発研修(ジェンダー含む)を毎年実施している。 ・社会保険労務士によるハラスメント防止講習の実施もしている。 ・ハラスメント防止担当の他、男女混合のペアにて、日頃の困りごとを含む悩みに気付いてあげられる仕組みを開始している。 ハラスメント防止規定も策定している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		①社有車全台にドライブレコーダーを導入している。運転レポートを元に個別指導を実施している。 ②勤怠管理システムにより、年次有給休暇取得や残業の削減に取り組んでいる。 ③2023年度より医療機関と契約し、ストレスチェックおよび産業医の面接、健康に関する講習などを開始している。 ④管理システムによりアルコールチェック・健康状態チェックを開始しており、飲酒運転防止に取り組んでいる。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・2021年12月から社会保険労務士とともに職種間や役職間の評価基準の統一化を検討開始している。 ・毎年、昇格条件や評価制度の統一化を目指し、見直しに取り組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・常勤社員・時短社員・パートの雇用形態があり、社員の希望で働ける状態にしてある。(パートから常勤社員になった社員もいる) ・時差出勤・在宅勤務は継続しており、介護・育児規定内「子の看護」項目に子供に障害者がある社員は、子が18歳になるまで年80時間の看護休暇を追加している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		新人事評価制度は継続実施している。また一昨年から社内育成制度も確立しており、保険会社研修(有料)への積極参加と合わせて実施している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		①健康経営委員会主導で社員の健康への取り組みを実施しており、健康経営認定も継続認定を受けている。 ②医療機関と契約しストレスチェック・健康に関する情報提供も開始している。 ③N-NOSE実施と予防接種・再検査受診・歯科検診およびスポーツ施設利用の会社補助も実施している。 【予定】 今年度からはN-NOSEから健康診断時の付加検診追加に変更予定している。			3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性活躍基準適合一般事業主認定では認定段階2を取得している。 ・2023年に高齢者を1名採用している。 ・社員における女性比率は40%。2022年に女性の営業も採用している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		時差出勤制度やテレワーク制度は継続実施している。 拠点間TV会議システム・タブレット・PC貸与によるWeb会議システムも継続使用している。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		2023年に業務効率化・簡略化・セキュリティー対策等を目的として新システムを導入しており、社外でも安全に業務ができるようにしている。また、RPAも一部導入したことでさらなる業務効率アップと仕事の中身の変革に取組始めている。								8	9.1		11	12							
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●		【予定】2025年度7月(申請締め切り)までに認定取得を予定している。				3	4				8	9			12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害化学物質の取り扱いなし。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		①BCP対策もあり、電気自動車(PHEV含む)2台を所有してる。 ②新システムにより電気・ガソリン使用量の把握がしやすくなったので、低減率目標(2024年度は3%減)達成に向け計画を開始している。 計画内容としては、拠点での担当エリアを決め、担当者を変更することで移動距離を短縮することでガソリン使用量を削減する。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		①夏冬のエアコン温度設定は継続実施している。 ②簡易計算シートを用いてCO2排出量を把握し、抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		毎年2回(4月・11月)の河川清掃を継続実施している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		①ペーパーレス化は継続実施している。 ②廃棄書類は郵便局に依頼し、溶解・再利用を継続実施している。 ③日本リユースシステムなどが運営する古着deフクチンも2回実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		各店舗にウォーターサーバーとドリンクサービス機械を設置し必要以上に水を使用しないようにしている。 (取組前は必要以上にお湯を沸かしたりし、残った分は捨てていたが。今は必要な量だけ使用している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		必要物は極力、グリーン購入やリサイクル品購入を心掛けている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	ドリンクサービス機械の設置やマイボトル配布によりペットボトルの購入を低減させている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	電気自動車(PHEV含む)2台所有している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	社有車の新規購入はEV・HV/PHEV車両としている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		①保険商品は無形であるため、事故予防のための情報提供(安全運転講習や医療事故・介護事故・BCP講習など)を継続的に実施している。 ②事故防止のためのドライブレコーダー(衝突警告・車線はみだし警告・事故多発地点通知)の普及を日々お客様にご案内し、採用もいただいている。今後も継続してご案内する。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・70歳以上の契約者、障害者対応は①複数面談②親族同席、①および②が困難な場合は複数回訪問を実施し、ご家族にわかるようにパンフレットなどもお渡しし意思確認を実施している。(記録あり) ・来店が多い熊本北オフィスでは入口のところにスロープと手すりを設置し、高齢者の方などが怪我をしないようにしている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		年2回の河川清掃の他、山鹿灯笼祭りの会場ボランティアに参加している。 【予定】 2024年度から事業継続力強化計画策定支援を開始する予定。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		①BCP策定している。 ②事業継続力強化計画認証を取得している。 ③年一回のBCP訓練を毎年実施している。 ④お客様には、ハザードマップを提供し、注意喚起や日頃の準備を案内するとともにSNSなどでも発災時には通知するようにしている。 ⑤発災に備えた備蓄品を確認しており、今年度はさらに充実させていく。				4								11.5		13.1			16
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	【予定】 今年度より、事業継続力強化計画策定の支援を8月後半から開始する予定。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	BCPIにおけるサイバー攻撃対策としてセキュリティシステムの販売の仲介を開始している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	以下のチームで啓発などを担当し目標達成のための年間計画の策定及び実施・改善をしている。 健康経営チーム:社員の健康促進や女性活躍を担当している。 宮推チーム:社員の知識向上や周辺知識向上を担当している。 コンプラチーム:人権啓発や法令遵守、ハラスメントを担当している。 経営陣:働き甲斐があり、育児や介護を安心してできる組織、男女・職種間に関係ない評価制度を担当している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	①熊本学園大学からのインターンシップ受け入れ実績あり。 ②2023年度に熊本学園大学から、弊社初めての新卒者を採用できた。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	熊本市:熊本学園大学に継続訪問している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17